

□ 高田松原地域振興施設の整備について

1 道の駅「高田松原」

道の駅「高田松原」は、東日本大震災の犠牲者への追悼と鎮魂や、復興への強い意志を国内外に向けて明確に示すこと等を目的とする高田松原津波復興祈念公園内に整備するものであり、平成27年1月に国土交通省の「重点道の駅」に選定されました。本道の駅は、国、県、市が連携して、道路情報施設、国営追悼・祈念施設（仮称）の休憩所、貴賓室等、東日本大震災津波伝承館と併せ、高田松原地域振興施設を一体の建物として整備するものです。建物の整備工事は、国の一括発注により、施工されています。

2 道の駅「高田松原」の広域的役割

道の駅「高田松原」は、三陸沿岸地域へのゲートウェイ機能を有する施設です。三陸沿岸地域の観光等の情報も発信するとともに、津波防災教育の拠点として交流人口の増加を促し、地域の原動力となる役割を担います。

また、三陸沿岸の市町村と連携しながら、地域一帯の歴史・文化的資源や被災地、新しく整備する市街地への来訪者の周遊を促していく計画です。



3 高田松原地域振興施設

高田松原地域振興施設は、道の駅「高田松原」のなかで物産機能を担っており、陸前高田市の新鮮な農林水産物や特産品、加工品を通して賑わいの場の再生を図っていきます。また、強い集客力を確保し、三陸沿岸に繋がるきっかけ、インバウンド・交流人口の拡大も図っていく予定です。



パース
※国道から視点



4 高田松原地域振興施設の事業コンセプト及び事業テーマ

高田松原地域振興施設は、津波復興祈念公園内に整備される「新・道の駅」としての優位性を活かし、機能と展開内容の充実により、訪れた全ての人に感動のインパクトを与えることで、陸前高田、三陸沿岸のファンの創出、交流人口の拡大を推進していきます。

また、陸前高田市及び三陸沿岸地域が持つ知恵、技術、人的ネットワーク等の経営資源を活用して全国及び世界に対して展開出来る可能性がある事業テーマを設定し、事業展開を図っていきます。

コンセプトスローガン 「すべての人に‘笑顔’と‘感動’を！」

【方針1】訪れた全ての人に、復興と賑わいの再生、エネルギーを実感させます

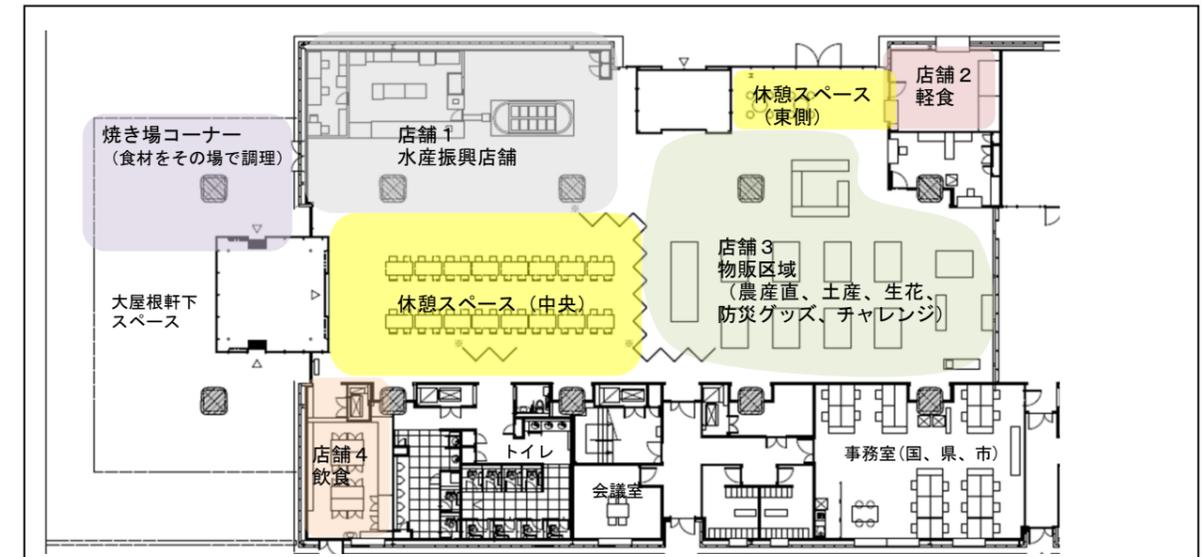
【方針2】陸前高田の美味しい食材（財）を見て、手に取って、食べて感動させます

【方針3】農家、漁家をはじめとする市民との「交流と感動」の場所にします

事業テーマ 「食」「防災」「未来へのチャレンジ」

5 高田松原地域振興施設の機能構成

高田松原地域振興施設の機能構成は、次のとおりです。



○ 水産振興店舗（店舗1）

広田湾産の牡蠣、ホタテ、イシカゲ貝など新鮮な魚介類を販売、海鮮丼などで提供します。また、水槽を設置して、粋な食材をリアルに体験させます。

○ 軽食（店舗2）

陸前高田、三陸の食材を使った軽食コーナー。気軽な軽食を通して、三陸の旬を感じさせます。

○ 物販区域（店舗3）

朝採り野菜や、陸前高田・三陸の特色ある土産品を販売します。献花のための生花、防災グッズ、新商品のテストマーケティングなど、季節感を出してフレキシブルに面積変動させながら、未来へのチャレンジを展開します。

○ 飲食（店舗4）

地域の特産食材による地産地消メニューを提供します。陸前高田・三陸のブランド食材を積極的に活用、PRし、飲食を通じた地域のファンの創出を図ります。